

### 平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	タケノコ狩り観光確立事業		
事業主体 (連絡先)	喬木村	ふるさと振興室 中川 渉	電話 0265-33-3999
事業区分	特色ある観光地づくり		
事業タイプ	ハード		
総事業費	441,000 円	(うち支援金: 290,000円)	

#### 事業内容

喬木村は、いちご狩り観光の村として一定の評価を得られるようになったが、観光メニューの多様化を目指し、4月、5月にタケノコ狩り観光に取り組んでいる。タケノコ狩りは県内では南信地区でのみ体験できる観光メニューのため人気は高く、毎年需要に応じられない状況となっている。

そこで、周辺の管理放棄された竹林の所有者に呼びかけ、委託管理竹林として再生を図り、タケノコ狩り観光の需要に応えるよう、事業を行った。



【伐採した竹をチップ化し敷き均しを行う】

自己評価(事業実施率) 【 A 】

#### 事業効果

管理放棄竹林が増え続ける中、タケノコ狩り観光導入により管理に必要な費用を捻出することができ所有者と管理者の新たな合意確立の可能性が検証できた。

また、整備竹林の拡大により、観光客受け入れも増やすことが可能となり、周辺環境の改善にも役だった。

#### 【 目標・ねらい 】

- タケノコ狩りの需要に応じられる竹林面積確保
- 管理放棄竹林の有効活用
- 周辺の景観形成

自己評価(事業実施率) 【 A 】

#### 今後の取り組み

タケノコ狩り観光の需要はまだ増やすことは可能と考えるが、観光に適した斜度の緩い竹林は限られており、荒廃が進む竹林全体を適正に管理する方法は見つかっていない。ただ、切り出した竹材をチップに粉碎する機械を北部振興局で導入したことから、観光目的でない竹林でも間伐作業が進む可能性が出てきたことから、景観形成という視点からも期待をしている。